

環境福祉部会

[視察期間] 平成29年7月18日-20日

01 岡山県井原市「笑って健康アップ事業について」

視察概要 ・取組の背景 ・事業にかかる予算
・事業内容(笑っちゃ王コンテスト、笑顔の体操事業など)
・想定事業効果と実際の効果の比較結果 ・現状の課題と今後の取組

参考となった点 笑顔で楽しく健康づくりをテーマに「笑」を入りに健康体操を実施しており、日常生活に取り入れて運動する習慣を持ち体操を毎日続けることで、健康づくりや介護予防・心身のリフレッシュにつながり、全市をあげての健康寿命がのびるまちづくりの推進はこれからの高齢者社会を迎える上でも効果の高い取組みを行っている。



環境福祉部会員

02 広島県東広島市「子育てと障がいの総合窓口事業について」

視察概要 ・東広島市子育て・障害者総合支援センター(はあとふる)取組概要
・事業に至る経緯 ・現状の取組、市民の声 ・取組にかかる経費、予算
・障害のある人のためのサポートファイルの取組内容 ・現状の課題と今後の取組

参考となった点 東広島市子育て・障害者総合支援センター(はあとふる)は、「子育て支援」と「障害者相談支援」の機能を併せ持ち、個々の機能の連携による相乗効果をねらった複合施設で、利便性の高い中心市街地にあり、子育て支援及び障がい者の地域生活支援に関する事業を一体的かつ総合的に推進する取組みを行っている。



はあとふる(東広島市)

03 福岡県みやま市「スマートエネルギー事業について」

視察概要 ・みやまスマートエネルギー事業取組概要 ・現状の取組、市民の声 ・現状の課題と今後の取組
・事業に至る経緯 ・成果と今後の課題 ・取組にかかる経費、予算

参考となった点 市が主体となって、大手電力会社に頼らない「エネルギー地産地消のまちづくり」を推進するため、「みやまスマートエネルギー株式会社」を設立し、環境を保全しながら地域コミュニティを活性化させる総合的な取組みを実施している。また、高齢者へのサービス、若者の移転促進、雇用確保などに繋がり、効果は高い。

産業建設部会

[視察期間] 平成29年6月27日-29日

01 奈良県奈良市「奈良市中心市街地活性化基本計画について」

視察概要 ・計画策定の背景と概要 ・計画を終えた現状と今後の課題
・計画の成果と課題

参考となった点 「歩きたくなるまち」「防たくなるまち」「活力あるまち」を活性化目標とし、中心市街地活性化計画が策定された。活性化計画は、行政・地元商店街・商業団体・交通業者などの各方面からなる委員により策定され、情報共有や一体的な計画推進により、空き店舗率の減少の効果も出ている。



産業建設部会員

02 福井県福井市「観光おもてなし市民運動について」

視察概要 ・観光おもてなし市民運動の設立の背景 ・観光おもてなし市民運動促進会議の取組
・観光おもてなし市民運動の概要 ・取組の成果と今後の課題
・観光おもてなし市民運動の特色

参考となった点 コミュニケーションを大切に「おもてなし」を基本に、経済界・観光業者・交通業者・市民団体などで構成する「観光おもてなし市民運動促進会議」を設置し、「観光客が触れた温かな対応や親切等の体験談集の発行」「真心こもったおもてなしの功績のあった個人・団体の表彰」など、市民目線・市民理解にポイントを置いた取組を推進している。



ハビリン(福井駅西口再開発ビル)(福井市)

03 石川県小松市「こまつ・アグリウェイプロジェクトについて」

視察概要 ・事業設立の背景と概要 ・こまつ・アグリウェイプロジェクトの成果と今後の課題
・こまつ・アグリウェイプロジェクトの特色
・小松とまはろ栽培のICT化事業の取組

参考となった点 地元の建設機械メーカー・JA・行政の3者が、6次産業化の推進や農業振興を目的とした連携協定を締結している。それにより、メーカーのものづくりノウハウを活用し、独自の加工品の開発や農作業の効率化など、新しい農業となる先進的な取組を推進している。

住む人が主役の政治を目指して…



市議会報告会



東京陳情



管外研修



議員研修



決起大会



合同研修

理念

私たち豊田市議会自民クラブ議員団は、住む人が主役の政治を推進する政策集団として、地域の歴史と伝統を大切にしながら、全ての社会行動の原点である家族が幸せに暮らしていける潤いと安らぎのある豊かな豊田市を創ることに邁進する。

政策大綱

- 1 地域住民の目線に立ったまちづくり
- 2 安全・安心のまちづくり
- 3 次世代の確かな育成
- 4 都市部と農村地域の共生
- 5 快適居住のまちづくり
- 6 活力ある産業都市
- 7 自立できる自治体の確立

vol.9

豊田市議会自民クラブ 議員紹介

総勢27名 ① 住所 ② 所属部会

四役会	団長 都築 繁雄 つつきしげお [4期] ① 樹塚東町 ② 企画総務	幹事長 鈴木 章 すずきあきら [4期] ① 足助町 ② 産業建設
	総務会長 深津 眞一 ふかつしんいち [2期] ① 渡刈町 ② 地域生活	政務調査会長 山田 主成 やまだしゅせい [2期] ① 西中山町 ② 教育社会
松井 正衛 まついせいえ [5期] ① 保見ヶ丘 ② 地域生活	梅村 憲夫 うめむらのりお [4期] ① 吉原町 ② 環境福祉	杉浦 弘高 すぎうらひろたか [4期] ① 四郷町 ② 地域生活
近藤 光良 こんどうみつよし [4期] ① 西岡町 ② 教育社会	三江 弘海 みえひろみ [4期] ① 武節町 ② 教育社会	日恵野 雅俊 ひえのまさとし [4期] ① 西町 ② 産業建設
神谷 和利 かみやかずとし [4期] ① 柿本町 ② 地域生活	太田 博康 おおたひろやす [4期] ① 若林西町 ② 企画総務	牛田 朝見 うしたあさみ [3期] ① 下仁木町 ② 環境福祉
加藤 和男 かとうかずお [3期] ① 樹木町 ② 企画総務	清水 都夫 しみずいくお [3期] ① 上郷町 ② 地域生活	山口 光岳 やまぐちこうたく [2期] ① 羽布町 ② 環境福祉
羽根田 利明 はねだとしあき [2期] ① 加納町 ② 環境福祉	板垣 清志 いたがききよし [2期] ① 松平志賀町 ② 教育社会	木本文也 きもとふみや [2期] ① 青木町 ② 産業建設
窪谷 文克 くぼやふみかつ [1期] ① 永覚新町 ② 教育社会	北川 敏崇 きたがわとしたか [1期] ① 明和町 ② 環境福祉	杉本 寛文 すぎもとひろふみ [1期] ① 本町 ② 地域生活
浅井 保孝 あさいやすたか [1期] ① 宮上町 ② 産業建設	原田 隆司 はらだたかし [1期] ① 千足町 ② 教育社会	岩田 淳 いわたじゅん [1期] ① 上野町 ② 企画総務
水野 博史 みずのひろふみ [1期] ① 野見山町 ② 企画総務	宮本 剛志 みやもとつよし [1期] ① 浄水町 ② 産業建設	

自民クラブ議員団では、5つの部会にわかれ、先進地の取組を調査・研究し、豊田市政に反映しています。

地域生活部会

[視察期間] 平成29年7月25日-27日

01 北海道根室市「災害に強いまちづくりの推進について」

視察概要 ・根室市周辺の地震津波の発生状況(主なもの) ・関係機関との連携
・地震、津波の想定について基本的な考え方
・地域防力の向上(地域防災特別授業「高校生防災授業」)

参考となった点 根室市の関係する防災関係機関は、釧路方面根室警察、根室市消防署を始め、北海道大学火山研究観測センター、根室海上保安部、根室地方気象台、航空自衛隊と本市では考えられない顔ぶれである。通常の活動を通して、横の連携も非常にうまくいっているとのことだった。

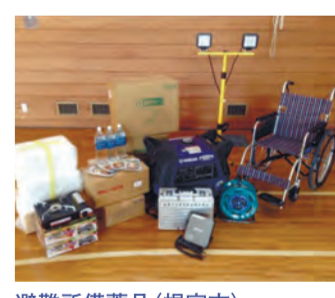


地域生活部会員

02 北海道根室市「消防団の強化・充実について」

視察概要 ・消防団の歴史 ・消防団員の状況
・消防団の概要 ・消防団員の確保(定員355名のうち、334名が確保)

参考となった点 毎年300名の高校生が卒業していくが、根室に残るのは100名前後と厳しい状況である。しかし、地震や高潮などの風水害も多く、災害に対し自分たちの地域は自分たちで守っていくという意識が高く、消防団が地域防力の要として、地域を支えている。



避難所備品(根室市)

03 北海道札幌市「下水道管路の老朽化対策について」

視察概要 ・札幌市の下水道の歴史 ・札幌市下水道改築基本指針 ・管路の老朽化対策
・施設概要 ・改築指針に基づく施策の効果等

参考となった点 札幌市は今後予防保全を中心とした施設管理で、設備の耐用年数を標準耐用年数の1.5倍から2倍を目標に維持管理を行うという。本市では、業務の効率化や経費削減を目指して民間事業者への包括的管理委託の導入が検討されているが、札幌市は560人の下水道河川局の職員でやっていくとのことだった。

教育社会部会

[視察期間] 平成29年7月11日-13日

01 愛媛県西条市「ICT教育推進事業について」

視察概要 ・事業の概要と課題
・事業の今後の展開

参考となった点 ICT機器の普及率が大変高く、全国標準学力テストでは前年度比5.34点の上昇を果たすといった学力の向上を図られたという成果があがっている。また、児童ばかりでなく、教務支援システムでは、教師の多忙化解消に効果があり、本市の施策において大いに参考となった。



教育社会部会員

02 愛媛県今治市「スポーツと文化の融合の取組について」

視察概要 ・しまなみ街道を軸にした事業展開 ・近隣市町村との連携
・サイクルツーリズムの取組状況

参考となった点 海外の自転車先進地を参考に、サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」を有する愛媛県から今治市を中心に、国内外に向けた自転車新文化をグローバルスタンダードに上げる取組は、本市の施策において大いに参考になった。



ICT教育(西条市)

03 香川県高松市「放課後児童クラブの取組について」

視察概要 ・指定管理制度導入の経緯 ・学校との連携
・放課後児童クラブの現状と課題

参考となった点 高松市の放課後児童クラブは、直營、公設民營、民設民營の三本柱で運営されており、クラブごとで運営委員会を設置し、校長が顧問に教頭等が運営委員に就任しているため、日頃から児童の状況など連携がとりやすい環境になっている。また、平成27年度からは、6年生までを対象とし、平成31年度には待機児童ゼロを計画している。

企画総務部会

[視察期間] 平成29年7月18日-20日

01 埼玉県さいたま市「スマートホーム・コミュニティの取組について」

視察概要 ・取組の経緯と背景 ・成果と今後の展開
・先導的モデル地区「浦和美園E-フォレスト」の概要と特徴

参考となった点 被災時の経験からエネルギー不足に加えて、地域のコミュニティ・寒さ対策の重要性を認識し、さいたま市と埼玉県住まいづくり協議会に加えて大学からの意見も取り入れ「公民+学」が連携する「美園タウンマネジメント」を設立しハード・ソフト面・総合支援サービスを提供している。



企画総務部会員

02 栃木県佐野市「シティプロモーション推進基本計画について」

視察概要 ・策定の経緯と背景 ・成果と課題、今後の展開
・計画に基づく取組の概要と特徴

参考となった点 市町村合併により分割の山林と多種多様な地域資源を持つ市となった結果、佐野をブランド化して全国に発信し、イメージアップと地域経済の活性化を図ろうと、様々な取組みを行い、ゆるキャラで有名な「さのまる」や「佐野ラベンダー」「イモフライ」が誕生し、全国で知られるようになった。



スマートホーム・コミュニティ(さいたま市)

03 神奈川県厚木市「東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流事業について」

視察概要 ・事業の経緯と背景 ・事業の概要と特徴
・これまでの交流事業から得られたことと見えてきた課題 ・大会までの目標

参考となった点 2020東京オリンピック・パラリンピックではニュージーランドのホストタウンとしての交流支援事業を展開しており、また女子7人制ラグビー誘致も同時に進め、事前キャンプ地への誘致には積極的にセールスを展開している。多くの誘致の実績をつくることで「キャンプ地は厚木市」というフレーズを確立している。